

男鹿市、学校給食無償化 県内の市初、来月途中から

男鹿市は 9 日、エネルギーや食料品価格の値上がりの影響を受けた市民や事業者を支援する物価高騰対策の概要を発表した。県内の市で初めて学校給食を無償化するほか、事業者の経営基盤強化に向けた取り組みを支援する。

給食無償化は小中学生、市内在住で特別支援など市外の学校に通う児童生徒を対象とし、来年 3 月までの事業費は約 3774 万円。16 日開会の市議会 6 月定例会に提出される一般会計補正予算案に事業費を盛り込むため、可決後の 7 月途中からの実施になる見込みだ。来年度以降も継続する方針。

また、おかずが無償提供されている市内の保育園や幼稚園の 3～5 歳児の給食でも、これまで持参となっていたご飯の無償提供を始める。菅原広二市長は記者会見で「物価高騰に直面する子育て世帯の負担を軽減しながら、子育て環境の一層の充実を図る」と述べた。

このほか、光熱費や資材費の高止まりを見据え事業者を支援。宿泊施設の効率的な運営に向けた顧客管理システムや自動チェックイン機の導入、中小企業の空調更新など省エネへの取り組みに対し、県と協調して助成する。

物価高騰対策の財源の一部には、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用する。

(藤田祥子)

(令和 5 年 6 月 10 日 (土) 秋田魁新聞より抜粋)